



ぼくは「もやっぴー」

## 大鰐温泉もやし

温泉の町大鰐には、温泉熱と温泉水のみを用いて栽培される、幻の冬野菜、「大鰐温泉もやし」があります。約400年前から栽培されてきた津軽伝承野菜の一つで、津軽三代藩主・信義公が大鰐で湯治する際は必ず献上されたそうです。大鰐温泉もやしは、独特の芳香とシャキシャキとした歯触り、味の良さ、品質の高さで大変人気があります。同じく温泉熱により発酵・熟成させる「マルシチの味噌」も、町の特色を活かした名産品として知られています。

大鰐町のゆるキャラ「もやっぴー」  
誕生日は11月11日の「もやしの日」!!  
名前の由来は「もやしを食べてハッピー!」になりますように!!



### 【大鰐温泉もやしの美味しい食べ方】

- ① 豆もやしの根を切り、3等分ほどに切っておく。
  - ② 強火で熱したフライパンにサラダ油をひき、豚肉を炒める。
  - ③ 半分くらい火が通ったら豆もやしと油揚げ、酒・砂糖・醤油などの調味料を加え、全体が馴染むように炒めて完成。
- ※炒め過ぎると、シャキシャキの食感が損なわれるので、ご注意ください。



### 大鰐温泉もやしラーメンが提供されている店



【朝日屋日景食堂】



【山崎食堂】



【さかえ食堂】



【お食事処「花りんご」  
(鰐come内)】



【いこい食堂】

### イベント情報

希少価値のある大鰐温泉もやしを購入できる・味わえるイベント「まるごと大鰐 秋の感謝祭」が毎年11月に開催されます。



5月に茶白山公園で行われる「大鰐温泉つつじまつり」では、約40数種、総数1万5千本以上の色彩豊かなつつじが山いっばいに咲き誇ります。昭和5年に植樹された真っ赤な「百年つつじ」は見た人を圧巻させること間違いなしです。全国一の生産量を誇るりんご王国の青森県ですが、その中でも「大鰐高原りんご」は、味・香り・色など品質の高さに定評があり、県の品評会等でも幾度も受賞しています。りんごは寒暖の差が大きいほど色・味ともに優れた品に育ちますが、高原地帯にある大鰐の気候風土は、栽培に適しています。町内の観光農園ではりんごもぎを体験しながら、大鰐高原りんごを味わうことができます。



歴史ある名湯・大鰐温泉を堪能し、大間のマグロを地酒と共に味わう

界 津軽 星野リゾート

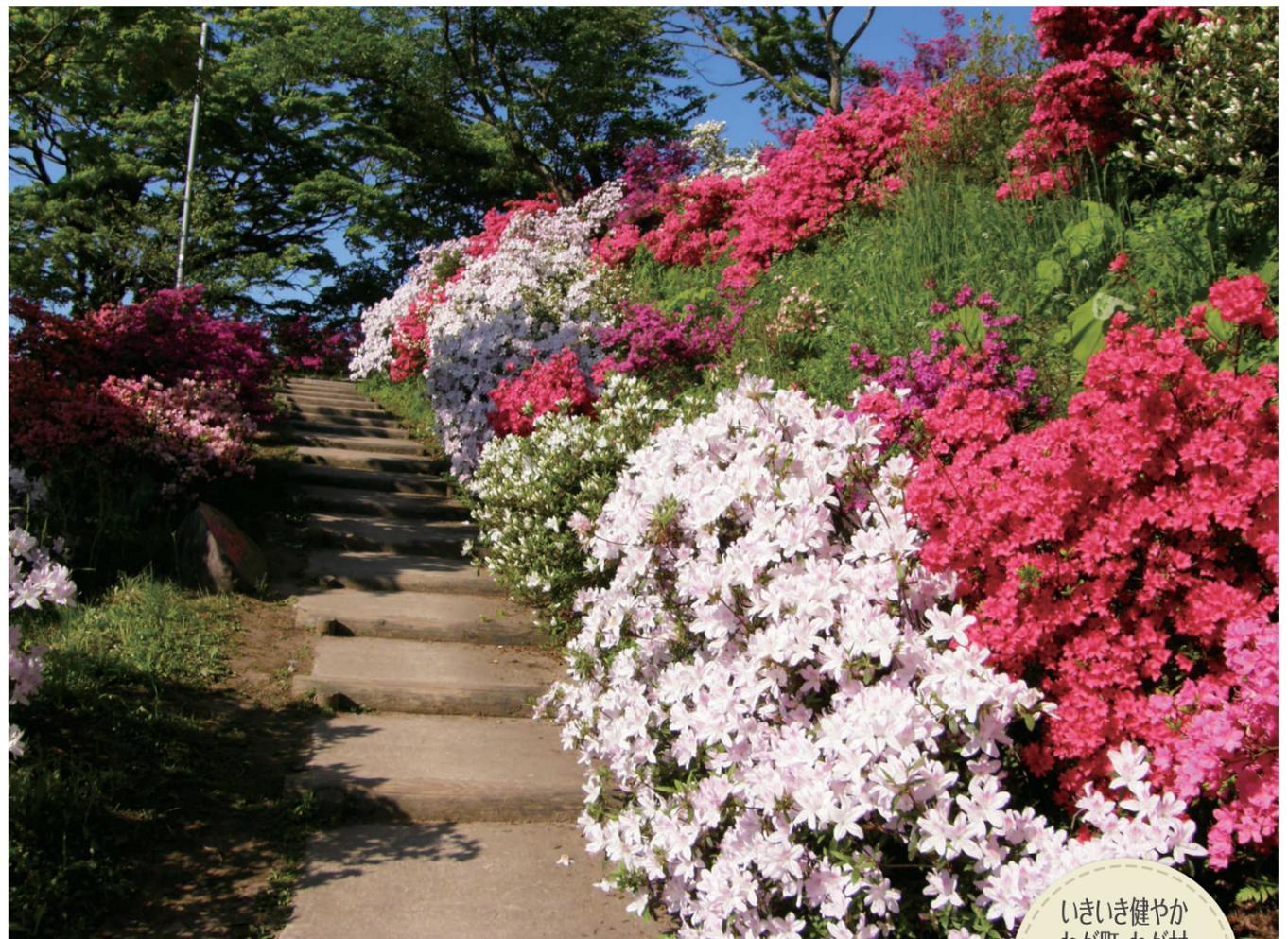
「界」は、星野リゾートが手がけるあたらしい温泉旅館のかたち。その土地、その季節でしか出会えない日本を発見する旅へ。

星野リゾート 界 津軽  
〒038-0211 南津軽郡大鰐町大字大鰐上社丹森36-1  
電話 0570-073-011 (9:00-20:00)

また、大鰐温泉スキー場は全国大会が開催できる競技型スキー場として知られ、「大鰐の山で滑れば国内スキー場で滑れないスキー場はない」と言われ、難易度が高いコースも自慢の一つです。

問合せ先

大鰐町企画観光課  
電話0172-48-2111



【青森県立自然公園茶白山公園つつじ】

いきいき健やか  
わが町・わが村  
大鰐町

# 津軽の奥座敷として 今も愛される「大鰐町」

大鰐町

青森県津軽地方の南端に位置する大鰐町は、豊かな自然と緑に恵まれた「温泉」で知られる町です。かつて津軽藩の湯治場として利用されていた大鰐温泉は、開湯800年以上の歴史を誇り、津軽の奥座敷として四季折々の美しさを満喫させてくれます。明治28年の大鰐駅(現在の大鰐温泉駅)開業後、多くの人が訪れ、温泉町としてにぎわいを見せるようになりました。現在も中心地を流れる平川沿いに、温泉旅館や昔ながらの公衆浴場が軒を並べ、町を訪れる人の疲れを癒しています。

